

# 夏を涼しく過ごす ひと工夫

夏の節電は、できるだけ電気を使わずに暑い時間を涼しく過ごすことがポイントです。

日本には、古くから高温多湿の夏を涼しく過ごす知恵がたくさんあります。こうした知恵を見直して活用することも、上手な工夫のひとつになります。

## 打ち水をする

朝や夕方にバルコニーや庭などに雨水やお風呂の残り水などで打ち水をする、水が乾くまでの間、気化熱の効果によって溜まった熱を逃がしてくれます。特に、熱を溜めやすいコンクリートやアスファルトでの打ち水は、効果的です。

## すだれで日陰をつくる

窓や引き戸などに、すだれ、よしず、カーテン、ブラインドを設置することで日射を遮り、室内への熱の侵入を防ぐため、効果的です。

## 寝具を工夫する

すばやく汗を吸収し蒸発させる素材や、い草や麻などの素材を選ぶと、気温の高い夜でも寝

苦しさが和らぎ、より快適に過ごすことができます。

## 衣服を工夫する

すばやく汗を吸収し、蒸発させる素材や通気性のよい素材などを選び、気温に合わせて調節することで、快適に過ごすことができます。また、帽子や日傘を利用すると、日射を遮ることができ、体感温度を下げることもできます。

## 同じ部屋で過ごす

エアコンを複数お持ちの場合は、ひとつの部屋で過ごすだけであれば、同時に使用するエアコン・照明を減らすことができ、消費電力の大幅な削減につながります。

## 熱中症にご注意ください

暑さが厳しい時間にエアコンの使用を過度に控えると、室温が上昇し、熱中症を引き起こすおそれがあります。特に、高齢の方や小さなお子さまは、水分をこまめに補給していただくなど体調に注意しながら無理のない範囲でのご協力をお願いいたします。

## 平成22年度

## 五霞町役場温室効果

## ガス削減計画実施結果

役場では、五霞町役場温室効果ガス削減計画に基づき、地球温暖化の原因とされる温室効果ガスの削減に取り組んでいます。

内容は、基準年度（平成17年度）に対し電気使用量と公用車燃料使用量を削減しようとするものです。

期間は平成19年度から平成23年度までの5年間です。

### 実施結果について

電気使用量  
電気使用量は表1のとおりです。

平成22年度は、基準年に対して28,000kwhの削減を目標としていましたが、目標値を上回る41,687kwhの削減ができました。

なお、二酸化炭素に換算すると295,854kgを排出したことになり、基準年から23,136kgの削減ができました。

### 公用車燃料使用量

公用車燃料の使用量は表2のとおりです。

平成22年度は、基準年に対し

1,200ℓの燃料削減を目標にしましたが、結果は1,211ℓの増加でした。

役場で管理している公用車は48台あり、実施結果では、半数以上の26台で燃料使用量を削減することができました。

また、前年の結果から比較すると、1,742ℓ削減することができました。

なお、二酸化炭素に換算すると65,870kgを排出したことがとなり、基準年から2,602kgの増加となりました。今後は、エコドライブの推奨、出張時の相乗りなど様々なことに取組み、削減目標を達成できるよう努めていきます。

お問い合わせ  
建設環境課 生活環境G  
☎ 3618（直通）

表1

施設名	基準年の電気使用量	H22年度		比較増減 (対基準年)	削減率 (対基準年)
		年間電気使用目標値	実施結果		
五霞町役場 本庁舎	236,821	225,521	241,697	4,876	2.06%
五霞ふれあいセンター	28,617	27,217	24,315	4,302	-15.03%
ごか西児童館	13,833	13,133	12,334	1,499	-10.84%
ごか南児童館	12,807	12,207	12,539	268	-2.09%
保健センター	67,764	64,404	68,340	576	0.85%
中央公民館	118,423	112,543	96,565	21,858	-18.46%
B&G海洋センター	96,492	91,732	77,280	19,212	-19.91%
合計	574,757	546,757	533,070	41,687	-7.25%

表2

基準年の燃料使用量	H22年度		比較増減 (対基準年)	削減率 (対基準年)
	年間燃料使用目標値	実施結果		
27,251	26,051	28,372	1,121	4.11%